

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部農林振興センター	氏名	河野亮輔
派遣先 団体名	コミュニティ益田		
<p>① 研修の日時</p> <p>【時間 9:00～17:15】</p> <p>1. 平成27年7月14日(火)    3. 平成27年7月22日(水)</p> <p>2. 平成27年7月16日(木)    4. 平成27年7月23日(木)</p> <p>※平成27年7月17日(金)は台風のため中止。</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>7月14日(火):オリエンテーション、ウエスの製造</p> <p>7月16日(木):ウエスの製造、きのこハウスの見学(就労継続支援A型)</p> <p>7月22日(水):ウエスの製造</p> <p>7月23日(木):ウエスの製造、ウエス製造に使用する古布の収集、座談会</p> <p>③ 研修の感想</p> <p>自身が福祉という現場にでた経験がなく、障がい者が身近ではなかったため、福祉に対して誤った考えをもっていたことを研修で知ることができた。</p> <p>当該施設には精神、知的、身体とさまざまな障がいをもった人が勤務しており、年齢や障がいに関係なく協力し仕事をしていた。体が不自由、コミュニケーションが苦手、気持ちの維持等の症状はさまざまあり、支援施設での訓練が必要ではあるが、一般企業で働くことができないほどとは感じなかった。</p> <p>当該施設管理者についても全員の情報を面接等で把握し、一般企業で働くために必要な能力を身につけてもらうため、個々の特徴をつかみながら、日々取り組んでいることを確認することができた。</p> <p>島根県では当該施設を含め自立を目的とした支援施設が多くあり、実際に一般企業に就職した障がい者もいるなか、「障がいをもっているという理由で一般企業が受け入れていないこと」「支援施設管理者の高齢化」の2点の問題が現状としてあることを知った。</p> <p>研修前には障がい者が働くことのできる施設を増やすべきであると考えていたが、研修を受けることにより、一般企業がもっと障がい者を受け入れる体制をつくり、「障がいがあるから働けない」という誤った考えを減らすため、また、施設管理者の高齢化を防ぐため、自立支援所、障がい者について県民に広めていく必要があると感じた。</p> <p>コミュニティ益田の関係者の方々には大変お世話になり、貴重な経験、情報を賜ることができたこと、深く感謝しております。</p> <p>ありがとうございました。</p>			